

ご用命・お問い合わせ先  
アペックス産業株式会社  
電話 03-3455-6474  
FAX 03-3455-6558



〈詳しい案内は当社のホームページをご覧ください〉  
URL <https://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

# APEX CLUB

アペックス産業株式会社

'25/5

第59号

## 『APEX CLUB』

発行 2025年5月1日(通算59号)  
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会  
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4  
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558  
URL <https://www.apex-sangyo.jp>  
発行人 元木 貢  
編集委員会  
編集委員長 篠原 綾乃  
編集委員 彦根 良雄、伊東 由里絵、杉山 敏  
DTP・印刷 (有)協立印刷社

## ギャラリー 広告写真 フォトグラファー 中道 順詩

### 作者寸言

どんな写真を撮っているんですか?と初対面の方に訊かれると、実に言葉に出しづらいです。そんな時は、制作したポストカードを何枚か、さしあげると納得してくれるようです。2000年代に入り、デジタルワークが普及していき、表現領域が変わっていても、1970年前後の欧州映画やロック、ジャズ、フォークなどの音楽に浸っていた影響もあって、“感じるままに”空気感や情感を加味しながら、人や物や景色を撮っていきたいと思います。



林家こぶ平 襲名高座ポスター  
スタジオでウサギを撮り、こぶ平さんの顔は、根岸の自宅の庭先で撮った。不思議な一枚に仕上がった。  
デザイン・副田 高行



東京都キャンペーン(からすといちょうの葉)ポスター  
スタジオで、からすの標本を置いて、近所で拾ってきたいちょうの葉をくちばしにセット。

東京こぶ平

### 作者プロフィール

1948年 石川県金沢市生まれ  
1970年 早稲田大学 社会科学部を休学して、ストックホルム、マドリード、ロンドン、ニューヨークに1年半滞在中、写真家の道に進む足掛かりを掴む。  
1972年 六本木アートセンターでスタジオ勤務  
1974年 ワークショップ写真学校で、横須賀功光に学ぶ  
1976年 フリーランス  
1980年 前半から、今日まで個展、二人展、グループ展など、数多く参加している。  
<http://www.facebook.com/junshi.nakamichi>



演劇のちらし(二十日鼠と人間) A-4サイズ  
スタジオでジーンズをセットして、二十日鼠の動きを時間をかけて観察しながらシャッターを押した。



当社で捕獲したアオダイショウ(剥製)

ヘビは、トカゲの類縁関係にある爬虫類で、四肢を持たない細長い体形が特徴です。ヘビは変温動物で、哺乳類のように体温調節ができないため、温度の低い冬は冬眠しています。熱帯地域に生息するヘビは逆に熱を避けるため、夏眠をする場合もあります。種類によって食べるものに違いがあり、ネズミ、カエル、鳥類など様々です。アオダイショウは木登りを得意としているため鳥類を獲物とすることが多いですが、マムシなど地上性の蛇はネズミなどを食べることも多いです。ヘビには毒をもっているものがあり、東京都内にも、山林部ではマムシやヤマカガシなどが生息しています。生息域となる、山林や河川の草むらには不用意に入らないように注意が必要です。ヘビを見つけても、噛まれる危険がありますので、近づかないことが大切です。しばらくすると、ヘビは別の場所へ移動しますので、刺激せずに離れて下さい。ヘビの人家への侵入対策としては、ネズミなど、ヘビの餌となるものの駆除を行う、家屋への侵入防止として、穴や隙間をなくすことや、敷地に塀などを設置する等が有効です。ヘビが敷地内に入ったなど、どうしても追い払いたい場合は、市販の忌避剤の散布や距離をとって、長い棒で追い払うことが有効です。もし、ヘビが家の中に入ってしまったら、捕獲や駆除が必要な場合は、当社にご相談ください。

## おじやま虫

ヘビは、トカゲの類縁関係にある爬虫類で、四肢を持たない細長い体形が特徴です。ヘビは変温動物で、哺乳類のように体温調節ができないため、温度の低い冬は冬眠しています。熱帯地域に生息するヘビは逆に熱を避けるため、夏眠をする場合もあります。種類によって食べるものに違いがあり、ネズミ、カエル、鳥類など様々です。アオダイショウは木登りを得意としているため鳥類を獲物とすることが多いですが、マムシなど地上性の蛇はネズミなどを食べることも多いです。ヘビには毒をもっているものがあり、東京都内にも、山林部ではマムシやヤマカガシなどが生息しています。生息域となる、山林や河川の草むらには不用意に入らないように注意が必要です。ヘビを見つけても、噛まれる危険がありますので、近づかないことが大切です。しばらくすると、ヘビは別の場所へ移動しますので、刺激せずに離れて下さい。ヘビの人家への侵入対策としては、ネズミなど、ヘビの餌となるものの駆除を行う、家屋への侵入防止として、穴や隙間をなくすことや、敷地に塀などを設置する等が有効です。ヘビが敷地内に入ったなど、どうしても追い払いたい場合は、市販の忌避剤の散布や距離をとって、長い棒で追い払うことが有効です。もし、ヘビが家の中に入ってしまったら、捕獲や駆除が必要な場合は、当社にご相談ください。



了後は懇親会がなごやかに開催され、有志により二次会、三次会もあり大いに懇親を深めました。お客様にお客様に



表彰状と表彰盾



当社の第31回技術交流会が開催されました  
当社技術交流会は、1992年に第1回が14名の参加によりスタートして、今年でちょうど33年を迎えました(コロナで2年休止)。本年は、当社社員27名、機材・薬剤のメーカー、同業他社など外部から26名、合計53名が参加して開催されました。  
事例発表では普段駆除を実施することが少ない食菌性の害虫防除2題、新しいセンサカメラの紹介2題、殺鼠剤の効力、トコジラミ防除、港区内のハチ駆除の分布状況、台東区委託の繁華街における大規模なドブネズミ対策の取組み、経営マネージメントなど11題が報告され、活発な質疑応答がなされ、他社との意見交換等、貴重な技術交流の場となりました。終了後は懇親会がなごやかに開催され、有志により二次会、三次会もあり大いに懇親を深めました。お客様にお客様に

対してより良いサービスを提供するために、防除技術の向上を目指して、今後も技術交流会を続けていきたいと思えます。  
研究室2名が優秀発表賞を受賞  
昨年開催された建築物環境衛生管理全国大会で、当社の鈴木光樹が優秀発表賞を受賞したことは前々号で紹介させていただきました。本年の大会式典で表彰状と賞品が授与されました。当社に寄せられた港区内のハチ駆除の依頼を地域、ハチの種類ごとに分類、分析したもので、現在もデータの収集を継続しています。  
また、昨年12月に群馬にて開催された第40回ペストロジー学会で、今度当社業務部長の佐々木健が、「ハンドスプレイヤーによる薬剤散布方法が蚊成虫防除効果に与える影響」という演題で発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。今後も害虫防除の業務に加えて、研究発表や事例報告なども積極的に行って仕事に活かしていきたいと思えます。(責)

## むし籠

## 虫めがね

国際昆虫学会議京都大会に参加して  
2024年8月25日、30日、第27回国際昆虫学会議京都大会(ICE2024 KYOTO)が国立京都国際会館で開催され、82の国と地域から4,278名の参加者が集まりました。この大会はさまざまな昆虫をテーマに、1920年設立以来4年ごとに世界各地で開催される、100年を超える伝統のある世界大会です。日本ではアジアで最初の第16回会議が1980年に京都で開催されました。今回は当社創業者の元木三喜男が米軍昆虫学者と参加しています。  
最終日に衛生動物分野のセッションがあり、日本環境衛生センターの橋本先生、国立感染症研究所の沢辺先生が座長で、ペストコントロール関係の4名が英語で発表されました。折しも台風が関西を直撃、東海道新幹線が不通となり、北陸新幹線まわりで帰ってきました。次回の第28回大会は南アフリカのケープタウンで開催されます。

